

風 薫 る 五 月

4月の入園、進級から1か月たちました。最初は家の人と別れるのが辛くて、泣いていた新入園児のお子さんも少しずつ園の生活に慣れ、友達と仲良く教室や園庭で楽しく遊ぶ姿が見られるようになりました。恥ずかしがらずに、元気よく朝の挨拶をしてくれる子も多くなり嬉しくなります。

さて、一年の中でも一番過ごしやすいといわれる五月がやってきます。園庭の鯉のぼりも気持ちよさそうに泳いでいます。間もなく子どもたちも楽しみにしているゴールデンウィークです。この期間中いろいろとお出かけの計画を立てているご家庭も多いかと思います。新年度を迎えて1か月、新しい学級、新しい先生、お友達…と、環境の変化に疲れも出てくる頃かと思います。ご家族でゆっくりと過ごし、十分な休養と栄養を取る連休とするのもいいのではないのでしょうか。



夏の季語に「風薫る」という言葉があります。新緑の季節となり、爽やかな風が青葉若葉の香りを運んでくる言葉です。この「風薫る」は「薫風(くんぷう)」とも書きますが、平安時代には花の香りを運んでくる春の風を指して使われることが多かったようです。しかし、江戸時代には「風かおる」として和歌や俳句に登場し、初夏のころに吹く涼しい風の意味として使われるようになりました。

入園おめでとうございます。

4月9日(水)、素晴らしい天気のもと32人の新入生を迎えて入園式が行われました。みんなきちんと座って、年長さんのお迎えの言葉を聞いたり、先生方による「むすんでひらいて」や「アンパンマン」の手遊びを一緒に楽しんだりすることができました。他にも、もも組に4人、すみれ組に3人、さくら組に1人が新しく入園しました。



祝 令和7年度 並木幼稚園 入園記念 ばら1組 令和7年4月9日



祝 令和7年度 並木幼稚園 入園記念 ばら2組 令和7年4月9日